

市長への手紙（令和 7 年度分）

「新茂原駅について」

新茂原駅には、現在、階段しかなく、ベビーカーを押している親たちや高齢者、体に不自由がある方々にとって非常に利用しにくい状況が続いています。特に、子育て中の家庭では荷物やベビーカーを抱えて階段を上り下りすることが日常的な負担となっています。また、高齢化等が進む中で、バリアフリーの重要性も増しています。高齢者や障がい者の方々にとって、現在の駅の構造は大きな障害となっており、移動をもっとスムーズで安全にするための対策が求められています。エレベーターの設置は、単に利便性を高めるだけでなく、市民全体の生活の質を向上させる重要なステップであると考えます。

私たち市民は、毎日新茂原駅を利用し、時にその不便さを我慢しながら生活しています。このままでは、さらに多くの市民が困難な状況に直面することになります。エレベーターを設置することで、多くの方が、より快適に移動できるようになり、全ての市民が平等に駅を利用できるようになることを切に願っています。

【回答】

日頃より、本市の交通行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

お話いただきましたとおり、新茂原駅にはエレベーター等の施設がなく、利用者の方々のご不便な状況であることは、把握しております。駅舎の改善につきましては、千葉県及び茂原市を含めた県内自治体を中心に構成される千葉県 J R 線複線化等促進期成同盟にて、J R 東日本に対して毎年要望活動を行っております。その中で高齢者、障がい者を始め、妊産婦や乳幼児を連れた利用者など誰もが使いやすい駅舎とするため、エレベーター等の設置など、バリアフリー化の推進を要望しております。

しかしながら、国が定めておりますバリアフリー法に基づく基本方針では、1 日当たりの利用者数が 3,000 人以上の駅がバリアフリー化の対象であり、1 日当たりの利用者数が約 2,400 人の新茂原駅は対象外となっております。そのため、エレベーター等の設置に関しては優先度が低くなってしまうと考えられますが、本市の要望することが実現するよう、引き続き、市として働きかけを行ってまいります。ご理解を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

【担当課：都市計画課】